

教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆自分の命は自分で守る！

10月28日（土）に大崎町中央公民館において『みんなで考える防災サミット』が開催され、約240名が参加しました。

会場では、鹿児島地方気象台、志布志消防署、NTT、鹿児島県防災研修センターによる出前授業が行われました。参加した児童生徒は、地震測定、ペットボトルを使用した液状化実験、防災カップ作り等さまざまな体験活動を行うことができました。

また、鹿児島大学の井村隆介准教授に『志布志湾沿岸の津波防災』という演題で講話をしていただきました。

そして、菱田小・大丸小・大崎中学校の児童生徒や大丸小PTA、大崎町消防団による意見発表、地域おこし協力隊による津波防災クイズも行われました。

発表した児童からは「緊張したけど自分の考えをしっかりと伝えられた」、参加した保護者からは「命の守り方や避難場所について親子で話し合ったことがなかった。今日は、家に帰ってさっそく話し合おう。」などの感想があり、防災について改めて考え、学ぶ機会となりました。



防災カップ作り



防災伝言ダイヤル体験

◆いざという時のために！

近い将来、日本では南海トラフ沖地震が発生する可能性が高く、大崎町も津波の被害があると想定されています。

大崎町教育委員会では、町内全ての児童生徒に、『津波防災マップ』と地震・津波が起きたときの対応チャートを載せたクリアファイルを配布しています。

また、子どもたちの命を守るための取組として『地震津波危機管理マニュアル』を現在作成しており、年度内に各学校に配布する予定です。

各家庭でも、非常用持出品の確認と地震や津波が起きた際の避難場所や決めなど、家族団らんの時間等を利用して『防災家族会議』を行い、日頃から防災意識を高め、いざという時の心構えをしておきましょう。

実際に地震や津波が起こってからでは遅いです。自分の命は自分で守りましょう。



配布したクリアファイル